

映画上映会
& シンポジウム

こどもの 貧困と 居場所を 考える

2016年

10月15日(土)

島根大学松江キャンパス
教養2号館604教室

参加
無料

現在、日本ではこどもの6人に1人が貧困だと言われています。もちろん島根県も例外ではなく、その実情の把握と対策は早急に解決すべき問題として立ち現れています。

貧困はただ単にお金がないことだけを意味しているわけではありません。人と人のつながりが希薄になり、教育や就労の機会が奪われているという現実があります。いま私たちに求められているのは、いかに地域社会がこの問題に真摯に取り組み、こどもたちの居場所を構築していくかです。

地域からこどもの貧困問題を問いなおし、こどもたちの未来をともに考える機会としたいと思います。

どなたさまもお気軽にご参加ください。

開催スケジュール

- 13:30~15:10 映画上映会
『さとにきたらええやん』
重江良樹監督、2016年制作、100分
- 15:15~15:30 アフタートーク
*重江良樹監督によるアフタートーク
- 15:40~16:40 ミニシンポジウム
「こどもの貧困と居場所を考える」
＜シンポジスト＞
重江 良樹氏(映画監督)
西村 眞知子氏(NPO法人眞知子農園 代表)
清原 正憲氏(松江市社会福祉協議会)
嘉藤 正秋氏(元・学校事務職員)
＜コメンテーター＞
宮本 恭子(島根大学法文学部 准教授)
加川 充浩(島根大学法文学部 准教授)
司会: 福井 栄二郎(島根大学法文学部 准教授)

ミニシンポジウム 報告タイトル

「農園活動と課題を抱えた子どもの支援」
西村 眞知子氏
(NPO法人眞知子農園 代表)

「つながりのある地域づくりを考える
～個から地域へ、地域から個へ～」
清原 正憲氏
(松江市社会福祉協議会)

「学校現場からみた〈子どもの貧困〉と
学びのセーフティーネット」
嘉藤 正秋氏
(元・学校事務職員)

主催
島根大学法文学部山陰研究プロジェクト「山陰地域における地域包括ケアのあり方に関する動態的研究」
島根大学萌芽研究プロジェクト「山陰地域の生活課題解決に向けたアプローチ方法の探求と構築」
共催
島根大学法文学部山陰研究センター

<問い合わせ先>

島根大学法文学部
山陰研究センター
E-mail: admin-src@soc.shimane-u.ac.jp
電話: 0852-32-9833

『さとにきたらええやん』重江良樹監督、2016年制作、100分



大阪市西成区釜ヶ崎。“日雇い労働者の街”と呼ばれてきたこの地で38年にわたり活動続ける「こどもの里」。

“さと”と呼ばれるこの場所では0歳からおおむね20歳までの子どもを、障がいの有無や国籍の区別なく無料で受け入れています。地域の児童館として学校帰りに遊びに来る子や一時的に宿泊する子、様々な事情から親元を離れている子だけでなく、子どもの親たちも休息できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、貴重な地域の集い場として在り続けてきました。

本作では「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも力強く成長していく子どもたちと、彼らを支える職員たちに密着。子どもたちの心の揺れ動きを見つめながら、子どもも大人も抱えている「しんどさ」と格闘する人々の切実な姿を描き出しました。

<製作・配給> ノンデライコ

<Webページ>

<http://www.sato-eeyan.com/>

<監督>

重江 良樹 しげえ よしき

1984年大阪府出身。
ビジュアルアーツ専門学校大阪卒業後、映像制作会社勤務を経てフリー。

2008年に「こどもの里」にボランティアとして入ったことがきっかけで2013年より撮影し始める。
本作が初監督作品。



<シンポジスト紹介> (敬称略)

西村 眞知子(NPO法人眞知子農園 代表)

食と環境、人と人との繋がり、枠に囚われない自由な生き方を求めて、田舎ツーリズムや農業体験で、土にふれ、人とふれあうことで、自然や人とのつながりの大切さを感じてもらうための活動を様々な展開。

これまでの主な活動は、映画上映会、コンサートや講演会(地球、自然環境に関する内容)、海外支援(植林活動、古着や手編みマフラー等)、東日本大震災支援(有機栽培の野菜を送る、現地でのボランティア作業)、食育の講師(県立松江養護学校安来分教室・安来市内小中学校)、野菜の栽培および販売、農業体験民泊など多岐にわたっており、長年にわたり精力的な活動を継続している。

清原 正憲(松江市社会福祉協議会)

平成6年宍道町社会福祉協議会入職、平成17年市町村合併により松江市社会福祉協議会に入職。町社協ではボランティアセンター、シルバー人材センター、地域福祉業務等を担当、合併後は地域福祉課、地域包括支援センター勤務を経て、平成27年1月より現職。主な担当は、成年後見事業、生活困窮者自立支援事業。

実家は曹洞宗の寺院。副住職。

嘉藤 正秋(元・学校事務職員)

1978年から県内公立小中学校7校で、学校事務職員として勤務。

全国学校事務職員制度研究会(制度研)の「子どものための学校事務」に共感し参加。子どもたちが経済的にも安心して学習や生活できるための解決に取り組む。2015年退職。

<会場へのアクセス> (JR松江駅から)

松江市営バス 北循環線内回り 島根大学・川津	北循環線内回り 15分	バス停「島根大学前」	島根大学 松江キャンパス
	島根大学・川津 25分		
一畑バス 美保関ターミナル マリンゲートしまね	20分		
車・タクシー	10分		

*なるべくバス等の公共機関でご来場いただきますようご協力をよろしくお願いいたします。

※駐車場をご利用の場合は守衛室で手続きをお願いします。

